

# おくたま 町議会だより



165号

平成 25 年 5 月 5 日  
発行 奥多摩町議会  
電話 (0428)83-2111

## 第1回定例町議会

第1回定例会は、3月5日から3月21日までの、会期17日間にわたり開催されました。

### — 25年度予算 —

平成25年度の各会計の予算は、本会議初日に提案され、議長を除く議員11名で構成する予算特別委員会に審査が付託されました。

3月12、14日の2日間にわたり予算特別委員会が開催され、内容説明、質疑等が行われ、21日の本会議に採決の結果、次の全8会計予算とも全議員の賛成により可決されました。

#### ○議案第32号

一般会計

#### ○議案第33号

都民の森管理運営事業特別会計

#### ○議案第34号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

#### ○議案第35号

国民健康保険特別会計

#### ○議案第36号

後期高齢者医療特別会計

#### ○議案第37号

介護保険特別会計

#### ○議案第38号

下水道事業特別会計

#### ○議案第39号

国民健康保険病院事業会計

予算特別委員会での質疑を箇条書きで掲載

#### ○一般会計

##### 歳入

- ・ 政権交代による財政運営の行方
- ・ 商工使用料減額の影響
- ・ 理科教育設備等国庫補助金以外の補助金の有無

##### 歳出

- ・ ホームページの更新状況と内容の充実

町外に所有する不動産の状況

職員健康診断の受診状況

司法書士委託料の内容

第5期長期総合計画策定業務委託の委託先

同計画策定に係る議員の役割

バス路線維持対策に代わる手段

電子計算機保守及び開発費の内容

白丸生活館の移転先と用地買収面積

グループホーム第三者評価の内容

少子化対策事業への財政支援の方向性

住民に対する各種健康診断の受診率と率を上げる対策

環境基本計画策定委託料の内容

国有農地管理費の内容

小規模土地改良事業調査設計委託料の内容

森林セラピー推進団体補助金の内容

林業費環境政策事業費の備

品購入費の内容と使用者  
丹縄亭テラス設置による使  
用料への影響

消火栓維持管理負担金の内  
容

中学校統合に関する町の取  
り組み

放射線に関する教育と指導  
の状況

AED講習会の各学校での  
受講状況

文化会館周辺の駐車場不足  
についての考え方

### ○都民の森管理運営事業特別会 計

・ そば打ち体験道場閉鎖が都  
民の森の運営に与える影響

### ○国民健康保険特別会計

・ 特定健康診査受診率と指導  
の内容

### ○下水道事業特別会計

・ 残土処分の方法  
・ 残土運搬車に対する運行の  
指導

・ 長期債の利率

○国民健康保険病院事業会計  
・ 通院に係る交通手段の検討

### その他の町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれ  
も全議員の賛成により、原案の  
とおり可決されました。

### 条 例 等

#### ○議案第1号

長期総合計画条例

#### ○議案第2号

墓地等の経営の許可等に関す  
る条例

#### ○議案第3号

地域社会における共生の実現  
に向けて新たな障害保健福祉  
施策を講じるための関係法律  
の整備に関する法律の施行に  
伴う関係条例の整理に関する  
条例

#### ○議案第4号

介護保険指定地域密着型サ―

ビス事業者等の指定等に関す  
る基準を定める条例

#### ○議案第5号

介護保険指定地域密着型サ―  
ビスの事業の人員、設備及び  
運営に関する基準を定める条  
例

#### ○議案第6号

介護保険指定地域密着型介護  
予防サ―ビスの事業の人員、  
設備及び運営並びに指定地域  
密着型介護予防サ―ビスに係  
る介護予防のための効果的な  
支援の方法に関する基準を定  
める条例

#### ○議案第7号

公営住宅等整備基準に関する  
条例

#### ○議案第8号

町道における道路構造の技術  
的基準に関する条例

#### ○議案第9号

町道における移動円滑化の基  
準に関する条例

#### ○議案第10号

町道における道路標識の寸法  
に関する条例

#### ○議案第11号

犯罪のない安全・安心まちづ  
くり条例

#### ○議案第12号

まちづくり計画住民委員会条  
例の一部を改正する条例

#### ○議案第13号

非常勤の特別職の職員の報酬  
及び費用弁償に関する条例の  
一部を改正する条例

#### ○議案第14号

一般職の職員の給与に関する  
条例の一部を改正する条例

#### ○議案第15号

事務手数料条例の一部を改正  
する条例の一部を改正する条  
例

#### ○議案第16号

廃棄物の処理及び再利用の促  
進に関する条例の一部を改正  
する条例

#### ○議案第17号

下水道条例の一部を改正する  
条例

#### ○議案第18号

道路占用料等徴収条例の一部  
を改正する条例

○議案第19号

公営住宅使用条例の一部を改正する条例

○議案第20号

防災会議条例の一部を改正する条例

○議案第21号

災害対策本部条例の一部を改正する条例

○議案第22号

町立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例

○議案第23号

秋川流域斎場組合格約

補正予算

○議案第24号

一般会計(第5号)

○議案第25号

都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第26号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第27号

国民健康保険特別会計(第3号)

○議案第28号

後期高齢者医療特別会計(第2号)

○議案第29号

介護保険特別会計(第2号)

○議案第30号

下水道事業特別会計(第3号)

○議案第31号

国民健康保険病院事業会計(第1号)

○議案第47号

一般会計(第6号)

指定管理者の指定と指定の解除

○議案第40号

丹縄亭

合同会社どんぐりんこ

(期間は平成25年4月から5年間)

○議案第41号

山里体験施設(そば打ち体験道場)

都民の森管理運営委員会

(平成25年3月31日まで)

物品購入契約

○議案第42号

防災備蓄用資機材購入(その2)契約

工事変更契約

○議案第43号

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その20

○議案第44号

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その21

○議案第45号

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その22

○議案第46号

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その23



### 一般質問

25年3月議会では、8日の2日目に7名の議員が質問を行いました。(通告順)

高橋邦男議員

過疎化・少子高齢化対策推進における今後の若者定住化促進について

(答) 公共交通機関の充実や、就労の場の確保、インフラ整備に対する不満、住宅や宅地の供給不足が流出の原因と考えている。今後もソフト事業とハード事業を積極的に実施し、若者の定住化を総合的に図っていく

高橋 ①若者世代が町外へ転出する大きな要因はどのようことであると考えているか②若者の定住化対策として、どのような施策が有効と考えているか

**町長** ①町で隔年に実施している、奥多摩町まちづくりアンケート調査の結果からみると、特に若年層から「住みにくい」、「住み続けたくない」との回答が多く、この原因は生活、環境分野において、利用しやすい交通手段の充実という項目、及び住みやすい環境整備の項目に対する評価が低いということから、若者の流出の原因は通勤、通学のための公共交通機関の充実や、

就労の場の確保、道路や住宅等のインフラ整備に対する不満によるものと考えられる。また、5つある奥多摩創造プロジェクトのうち、「若者定住化創造プロジェクト」が最も重要であるが進行していない、とする評価が多く、若者の定住を促進するための住宅や宅地の供給が、依然として不足していることも流出の原因と考えている。

②住民の意識調査の結果等を踏まえ、少子化対策や若者の定住対策について、有効と思われる様々な施策を実施しているところであるが、子育て世代の転出

や少子化による人口減少を食い止めるとともに、子育て世代の転入者を増加させることを喫緊の課題であり、今後も住民のニーズを的確に捉え、町独自の子ども・子育てに関する各種支援事業の充実や、宅地の分譲、賃貸住宅整備の一層の推進等、さまざまなソフト事業とハード事業を積極的に実施し、若者の定住化を総合的に図っていく。

**町長** ①白丸ダム対岸の巡視路は、山腹に浮石や露出した石が多くあったことから、都交通局が3か年計画で落石防護工事を

行っていたが、計画2年目に東日本大震災が発生し、倒木や落石が数か所で発生したことから、より広い範囲の石や岩を安定させる必要が生じ、現在も閉鎖された状態が続いている。このため、昨年6月に都交通局と都環境局に、町を通して観光協会会長名で、早期の通行止め解除と別ルートでの遊歩道設置等を要望しており、現在、都交通局でいくつかの案を検討していただいているところであり、今後も粘り強く要望活動を行っていく。

**白丸ダム対岸の通行止めについて**

(答) 落石防護工事により現在も閉鎖された状態が続いている。早期の通行止め解除と、別ルートの遊歩道設置、国道の歩道設置についても要望を行っている。

**高橋** ①通行止めの現状と東京都交通局に対する要望の内容

②次の対策案について、町の考えは ・落石危険場所を避けて迂回路を湖面上に設置する。  
・ドラム缶橋を設置する。  
・国道の外側に歩道を設置する。

**町長** ①白丸ダム対岸の巡視路は、山腹に浮石や露出した石が多くあったことから、都交通局が3か年計画で落石防護工事を

行っていたが、計画2年目に東日本大震災が発生し、倒木や落石が数か所で発生したことから、より広い範囲の石や岩を安定させる必要が生じ、現在も閉鎖された状態が続いている。このため、昨年6月に都交通局と都環境局に、町を通して観光協会会長名で、早期の通行止め解除と別ルートでの遊歩道設置等を要望しており、現在、都交通局でいくつかの案を検討していただいているところであり、今後も粘り強く要望活動を行っていく。

**竹内和男議員**

**奥多摩の林業の将来について**

(答) 本年度から3年間をかけたシカの食害調査を実施していくが、結果によっては引き続き伐採等の自粛を求め、調査を継続していく

**竹内** 現在皆伐が実施できない多摩川北側の森林において、平成24年度に皆伐、造林を試行的に実施し、シカの食害を調査するとあるが、今後は具体的にどのように林業政策を進めていくのか

**町長** 東京都と共同で町有林と民有林の3か所を選定し、伐採、搬出を行った場所でのシカによる食害の有無等の調査を行うため、対象地域での伐採を現在行っているが、伐採後にはスギ、ヒノキ、広葉樹等を一定の割合で植栽し、3年間をかけて調査を行うこととなっている。調査

の結果、シカによる著しい食害が発生しなかった場合は、多摩川北岸での伐採等の林業生産活動が再開でき、また食害が発生した場合は伐採等を引き続き自粛していただくため、地域森林整備計画等にシカ害に関する事項を特記し、シカ保護管理計画に基づくシカ生息数等の状況を踏まえ、同様の調査を計画していく。町の94%を占める貴重な森林資源を活用できることが町の活性化にもつながり、森林所有者皆様の森林整備にかける意欲の向上にもつながることと思っている。

### 師岡伸公議員

#### 給油所過疎地の今後について

（答） 調査や先進事例等を踏まえ、今後の研究課題としたい。高齢者の買い物対策については、人口減少等にも関連する問題であり、総合的に考えていきたい

**師岡** ①給油所過疎地の今後について、町の考えは②高齢者世帯における生活必需品の購買手段、各地域への引き売りの出入りの実態は

**町長** ①給油所が安定して経営していくためには、廃業した場合の不便等を住民に理解していただき、利用が促進されることと条件となるが、地区に何か所給油所があれば安定した経営ができるか等を把握するためには、燃料の需給量調査等を実施し、慎重に適正数を検討することも必要と考えられる。先進事例等を踏まえ、今後の研究課題としたいと考えている。

②高齢者の方に限らず、若い世代の方でも生活協同組合の宅配サービスを利用する方や、移動販売を利用する方を町内各地で多く見かける。日原地区には3業者が、小河内地区にも3業者以上が、その他の地区にも複数の業者が野菜、肉、魚、牛乳等の移動販売を行っている。また、灯油等の燃料は町内3か所の給

油所のほかに、JA西東京や灯油販売店、プロパンガス販売店等が配達を行っており、当面の問題はないと考えている。高齢者の買い物対策については、人口減少とも関連する問題であり、商業協同組合の振興等も含め、総合的に考えていきたい。

#### 奥多摩における古民家再生について

（答） 所有者の意向に基づき、空家バンクへの登録等も含め、利用できるよう検討していきたい

**師岡** 古民家を有効に活用することで地域再生につながると思うが、今後の方向性について問う

**町長** 価値観が多様化してきている現在、利用を希望する方もいらつしやることと思うが、物件の程度により修復費用も千差万別であることから、今後所有者の意向に基づき、空家バンク

への登録等も含め、どのような形であれば利用可能であるか検討していきたい。

### 原島幸次議員

#### 「秋川流域斎場組合」への加入について

**原島** ①加入することを決定した経緯②正式加入までの今後の手続き③加入後に町民が負担する施設等の使用料について問う

**町長** ①し尿処理においては秋川衛生組合、ごみ処理においては一昨年に西秋川衛生組合に加入させていただくこととなったため、両組合と同じく、あきる野市、日の出町、檜原村が組織する秋川流域斎場組合に加入させていただくことに決定した。②組合規約の制定については、本会議初日にご決定いただいたところであるが、今後は先の3市町村議会において組合規約改

正の議決をいただいた後、東京都知事に許可申請を行うとともに、3市町村と当町との間で基本協定書、覚書について取りまとめを行い、調印式を行う予定である。規約の制定、改正についての都知事の許可は、5月の初めには下りる見込みである。  
③火葬は今まで大人1体6万円であったものが1万円に、通夜、告別式の式場使用料が25万円から13万円の組合価格となる。

**町内における野生動物の被害対策について**

（答）対象動物や被害状況、周辺の状況等を考慮して、今後も最善の対策を実行し、被害の減少に努めていきたい

**原島** ①農林業への被害状況と対策②住民生活への影響と被害及び対策

**町長** ①平成8年度調査では被害面積が10・8ヘクタール、被害額が4千622万円であった。平

成9年度からは、町の要請により東京都の獣害対策補助事業が新設され、この補助金を活用して獣害防止柵等の設置を行った結果年々被害が減少し、平成23年度には被害面積が0・65ヘクタール、被害額が277万円となり、効果が上がっていると思っている。このほかサルの追い払いや、シカの捕獲等、東京都猟友会奥多摩支部や関連団体等と連携し、被害の抑制に努めているところである。

**村木征一議員**

**奥多摩町内における梅のウイルス（プラムポックスウイルス）の感染状況について**

（答）現在7地区が防除区域に指定されているが、平成25年度以降の調査結果によっては、平成29年度から防除区域解除が検討されることとなる

**村木** プラムポックスウイルスの町内の感染状況と、その対策について問う

**町長** 国及び東京都による調査の結果、平成21年度から23年度までに計13園地、20本の感染樹が確認され、いずれも処分されたほか、川井、大丹波、梅沢、丹三郎、小丹波、氷川、海沢地区が植物防疫法に基づく防除区域に指定された。平成24年度に、国では一定レベルの防除対策が完了したと判断し、これまで実施してきた感染樹特定調査では

なく、根絶確認調査を実施することとなった。しかし、8園地に8本の感染樹が確認されたため、平成25年度以降も調査を継続し、その後3年間感染樹が確認されなかった場合、平成29年度以降、大字単位で防除区域の解除が検討されることとなる。

**杉村良一議員**

**川井松葉穴沢道路拡張について**

（答）地権者から同意をいただいている部分は速やかに着工するとともに、同意が得られていない地権者等とは粘り強く交渉し、早期の全線整備を図りたい

**杉村** 拡張工事未着工部分の急カーブでは、ガードレールや緑石にぶつかる自動車事故が多発している。今後の対応について問う

**町長** 町道川井松葉穴沢線は、国道411号線、川井橋先から国道

と並行して古里方面に向かい、再び国道に接続する延長735・61メートルの1級町道である。この道路の拡張工事は、平成20年度に古里側を115メートル、21、22年度に川井側を107・3メートル実施したが、その後、地権者の同意が得られず休止せざるを得ない状況となっている。このため、ご質問の八雲沢の部分が無着工になっており、今後は、地権者から同意をいただいている部分は速やかに拡張工事を行うとともに、同意が得られない地権者等に対しては粘り強く交渉し、1日も早く全線整備が完了するよう対応したい。

石田芳英議員

住民による事業仕分けの導入の必要性について

(答) 市町村における事業仕分けは評価者に予算削減を行う権限、強制力はなく、現時点では実施する考えはない

石田 事業仕分けという形で、住民皆さんが予算策定に関与する仕組みづくりを取り入れるべきではないか

町長 市町村における事業仕分けはあくまでも判定であり、評価者に予算削減を行う権限、強制力はなく、仕分けの結論がどう予算に反映されるかは、予算編成権を持つ首長の予算査定の判断、そして議会の議決によるところとなる。また、毎年度の予算編成に際しては、すべての課の要求原案に対して理事者のヒアリングを行うとともに、財政担当により財源や事業効果等について、さらなる精査を行ったうえで調整しており、現時点では住民による事業仕分けを実施する考えはない。

『景観条例』(仮)の制定による「巨樹と清流の町」としての美の推進について

(答) 景観条例の制定は、住みにくい町となる可能性を否定で

きず、現時点では自然公園法を順守し、自然と調和のとれたまちづくりを推進していく

石田 ①面として取り組むべき、景観に対する町の大局的な考え方②景観条例(仮)の制定に関する考え③景観の改善、美化の推進に対する長期的な方針

町長 ①②③当町は昭和25年に秩父多摩甲斐国立公園に指定されて以来、全町が自然公園法の適用地域となり、自然保護や開発行為について非常に厳しい法律が適用されている。この法律を上回る町条例の制定は、開発行為の抑制をさらに強めるばかりか、景観条例に必置の形や色彩指定等に伴う住民負担や町補助金の制度化等、住民や行政により多くの負担を招くことにつながる、かえって住みにくい町になる可能性も否定できない。よって、現時点では自然公園法を順守し、自然と調和のとれたまちづくりを推進していく。

中学校の統合について

石田 ①決定の経緯、統合によるメリット、デメリット②学校施設跡地利用検討委員会のメンバー構成、運営形態③旧小河内小・中学校の施設の有効活用

教育長 ①小規模学級では、生徒一人ひとりに先生の目が行き届く等のメリットはあるが、少人数意見しか触れられない、固定化した人間関係になってしまいう、部活動の集団的な活動が制限されてしまう等、良い意味での競争心が薄れてしまうことから、大勢の中で切磋琢磨して社会性を身につけさせたいと考え、教育委員会では中学校の統合を決定し、合わせて統合の時期、統合後の校舎を始め、統合に関する事項を取りまとめた。②中学校の統合が決定した後、行政部門で委員会を立ち上げ、跡地の利用について検討していく。

町長 ③現在は撮影や町主催の

講習会、氷川小学校のキャンブにも利用しているが、林間学校や宿泊施設としての活用の問い合わせもあり、町としても公共的な活用を検討したが、建物の老朽化や敷地の状況等、消防法、建築基準法に不適合であり、今後とも法令等を順守したうえで、様々な観点から有効な活用方法について検討していきたい。

# 議会 日誌

## 2 月

- 8日 西多摩郡町村議会議員研修会
- 9日 中央大学学術シンポジウム
- 12日 青梅警察署新庁舎落成式
- 13日 奥多摩ふれあいフェスティバル 実行委員会
- 西多摩郡町村長・議長合同会議
- 14日 地域福祉計画検討協議会
- 16日 青梅マラソン開会式
- 19日 東京都町村議会議長会役員会・定期総会

- 20日 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
- 26日 秋川衛生組合議会定例会
- 西秋川衛生組合議会定例会
- 27日 奥多摩町・檜原村議会合同研修会

## 3 月

- 1日 議会運営委員会
- 5日 第1回定例会（第1日）
- 6日 連合審査会
- 8日 第1回定例会（第2日）
- 10日 木村奨学会合同会議・作文コンクール表彰式
- 城山トンネル貫通式
- 12日 第1回定例会（第3日）
- 予算特別委員会（第1日）
- 14日 予算特別委員会（第2日）
- 19日 中学校卒業式
- 21日 第1回定例会（第4日）
- 22日 西秋川衛生組合議会臨時会
- 25日 小学校卒業式
- 28日 三か町村議会議員連絡協議会（以下「三か町村」）結婚部会
- 29日 ふるさと福祉会ワークショップ
- 奥多摩開所式
- 30日 第九消防方面本部消防救助機動部隊発隊式

- 31日 青梅・奥多摩交通安全のつどい
- 4 月
- 1日 教職員辞令交付式
- 6日 体育協会総合開会式
- 7日 山開き式
- 消防団任命式
- 8日 小学校入学式
- 9日 中学校入学式
- 西多摩地区消防団連絡協議会総会
- 16日 消防署長歓迎迎会
- 19日 議会だより編集委員会
- 体育協会定期総会
- 20日 消防少年団入卒団式
- 23日 身体障害者福祉協会定期総会
- 24日 三か町村結婚部会
- 26日 西多摩郡町村議会議長会定期総会

平成25年第2回定例会

第2回定例会は、6月11日ころからを予定しています。細かい日程は防災行政無線でお知らせします。たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

## 編集後記



海沢のふるさと福祉会「ワークショップ奥多摩」のレストランと菌床椎茸工房が完成し、3月29日の式典に町議会議員も出席させていただきました。森田理事長を始め、関係者皆様のご尽力により、この日を迎えることができたと思います。この施設で働く皆様、関係するご家族の方は感無量だと思っています。

さて、国政では安倍政権が経済対策においてデフレ脱却を目指し、政策を打ち出しておりますが、経済の活性化を期待するところです。当町の3月議会においては25年度予算が成立し、速やかなる事業の執行を願うところです。

これから奥多摩も本格的な観光シーズンを迎え、心も体も暖かく動きやすい季節となりますが、皆様お体を大切に「活躍ください」。

高橋 邦男 杉村 良一  
 師岡 伸公 竹内 和男  
 （須崎 眞）